



「多久から発信！SDGs」

「アートで伝えるSDGs」

私たち5年1組は、図工の授業で、見る方向によって絵が変わる「トリックポスター」を作りました。このポスターは、一つの絵で問題点を表し、もう一つの絵でその改善策を表す作品です。

テーマは、SDGsの「海洋プラスチック問題」や「廊下を静かに歩こう」など、身近なことから社会の課題までさまざまです。一人ひとりが、見る人に伝わりやすい表現を考えながら作品を完成させました。

私たちが特に工夫した点は、トリックポスターを見た人全員に気持ちが変わるように、分かりやすい絵と短い文章を入れたことです。実際、校内に掲示したトリックポスターの前には、多くの下級生が立ち止まり何度も見てくれました。

みんなのために作ったトリックポスターを、一人でも多くの人に見てもらおうことで、SDGsの問題について考えるきっかけをつくることができました。私たちの思いが学校の中だけでなく地域へどんどん広がり、地域の人にもメッセージが届くとうれしいです。

東原岸舎東部校

5年1組 徳永 華
5年1組 松本あかり



多久市の指定文化財(17)

龍造寺長信の逆修供養塔

西多久町大字板屋七〇三番地(圓通寺)

西多久町藤川内区にある圓通寺の墓地に領主多久家歴代の墓所があり、墓列の前面に多久領祖龍造寺長信の逆修供養塔が2基建立されています。龍造寺長信は戦国時代末、九州を三分し薩摩の島津氏、豊後の大友氏らと争い、中九州から西北九州を支配し肥前を統一した戦国大名・龍造寺隆信の実弟です。兄弟は水ヶ江龍造寺家に生まれ、兄隆信のち本家の村中龍造寺家を継いだことから、長信が水ヶ江家を継承しました。元龜元年(1570)に長信は隆信の命で家臣らを率い多久に入部し、嫡子のを

(教育振興課)



▶長信の逆修供養塔(圓通寺墓地)



▶長信肖像画(郷土資料館蔵)

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- ◆戦争だけはしないと覚悟することが
世界平和の基本。そののみ。
尾形 節子
- ◆早々と咲き満ちし白百合よ
春まだ浅き風にふるえつ
川浪 信子
- ◆いつもより梅雨入り早く紫陽花の
しおれ具合が我に似ている
梶原恵美子
- ◆人生に失敗なんてあり得ない
勇気を出して前を向ければ
野崎 隆幸
- ◆雲ひとつ無き朝空の潔さ
わが雑念の払われゆかむ
浦野 嘉恵

俳句 《大石ひろ女選》

- ◆子供等の喚声上ぐる海開き
本村 則子
- ◆麻のれん出して変はらぬ暮しあり
富樫 明美
- ◆夏至の日の最終便の軋む音
大谷 和
- ◆卓上の紫陽花向きを変へてをり
武富 律子
- ◆枇杷熟るる神の使ひの鴉来て
大石ひろ女

川柳 《多久川柳会 互選》

- ◆再検査終えて安堵のレストラン
高塚ちかこ
- ◆温暖化夏がだんだん長くなり
松下 修
- ◆安心も不安も乗せて救急車
西山 残月
- ◆担当医 パソコンだけ見患者見ず
田中 正春
- ◆それ以上美女にはならぬ美容外科
田代まつこ